

おじいちゃん・おばあちゃんへ

孫と一緒にでかけよう！

屋内編

まだ外で遊ばせるのは不安だけど、広いスペースで一緒に遊びたいというときには、下記の施設をご利用ください。おもちゃや絵本がたくさんあります。今と昔で認識が異なる日光浴・だっこ・離乳食などについて、保護者のかた同士で意見交換したり、保育士に相談することができます。不安を解消して、思いきり孫のお世話をしてみませんか。

- 子育てサポートプラザ ●子育てひろばポッポ♡
- 南鳩ヶ谷地域子育て支援センター ●鳩ヶ谷こども館
- 南平児童センター ●戸塚児童センター「あすぼる」
- 芝児童センター ●おやこの遊びひろば(各公民館など)

P27.28に
MAP
あります

屋外編

一人歩きができるようになると、外でも楽しく遊ばせることができます。子どもは砂遊びや水遊びも好きですが、おじいちゃん・おばあちゃんだからこそ教えることのできる「こま」や「竹ぼっくり」などの昔遊びをしてみるのもいいかもしれません。前川第6公園と南平児童交通公園では、子どもと一緒に遊んでくれるプレイリーダーがいます。おもちゃの貸し出しも行っています。

地域の子育て支援活動への参加

核家族世帯が増えている中で、子どもを育てていくのは大変なことです。そんなときに必要となってくるのが、地域のかたの支援活動です。自分の孫のお世話をするだけでなく、子どもたちとの関わりを持つことで、自分自身の生活にも活力を得られるのではないのでしょうか。

プレイリーダー活動をしてみよう！

前川第6公園、南平児童交通公園では、プレイリーダー(市民ボランティア)が子どもたちにワクワクするような遊びを提供しています。

活動日:火・水・木・土曜日 10:00~17:00

問合せ 青少年対策室 ☎048-258-1115

かわぐちファミリー・サポート・センター サポーター会員募集

日常的な場面で子育て支援を望むかたをサポートする活動です。子どもが好きなかた、空いている時間を有効に使いたいかたをサポート者として募集しています。

問合せ かわぐちファミリー・サポート・センター
☎048-252-3388(受付時間:月~金曜日9:00~17:00)

緊急サポートセンター サポート会員募集

子どもの病気などで、急な子育て支援が必要となったかたをサポートする活動です。これまでの経験を生かして子ども達をサポートしてみませんか。

問合せ 緊急サポートセンター埼玉
☎048-297-2903(受付時間:土日祝日可7:00~20:00)

祖父母世代の子育てとパパママ世代の子育て 何が違う？

子育て環境は時代とともに大きく変わり、考え方や常識も変化しています。子育ての世代間ギャップでお互いに戸惑ってしまうこともあるでしょう。知っておきたい「子育て今昔」を紹介します。

<p>1 抱っこ</p>	<p>昔</p> <p>抱き癖がついてしまうので、泣いてもすぐ抱っこしないよ</p> <p>自立心を育てるためには、時間を決めて抱っこするのがいいわね</p>	<p>今</p> <p>人との信頼関係や友達づくりの基盤にもなるので、ためらわずにたくさん抱っこしましょう。触れあい関わることで子どもの情緒が育ち、脳が健全に発達します。パパママもわが子がかけがえのない存在だと肌で感じられますね。</p>
<p>2 離乳食・アレルギー</p>	<p>昔</p> <p>離乳食が始まる前に湯冷まし(白湯)や果汁をあげて、母乳やミルク以外の味に徐々に慣らさないとな</p>	<p>今</p> <p>5~6か月までは、母乳やミルクのみで栄養も水分も十分です。果汁は甘さが強く、母乳やミルクを飲まなくなってしまう懸念から、早くには飲ませなくてよいとされています。</p>
<p>3 虫歯予防</p>	<p>昔</p> <p>大人が使ったスプーンや箸でそのまま赤ちゃんに食べさせて問題ないよ</p> <p>離乳食は、大人が口の中で噛み砕いてあげるといいわよ</p>	<p>今</p> <p>噛み砕いたものを与えたり、スプーンや箸を共有したりすると、大人の唾液に含まれる虫歯菌が子どもの口に入る恐れがあるのでやめましょう。</p>
<p>4 断乳と卒乳</p>	<p>昔</p> <p>離乳食を進めるためにも、1歳になる頃には「断乳」して母乳をやめたほうがいいわね</p>	<p>今</p> <p>子どもが自然と「卒乳」するまで授乳してOKです。母乳を与えながら離乳食(補完食)を進めましょう。</p>

アレルギーが出る可能性があるため、初めての食品は平日午前中に、1種類ずつ少量から始めましょう。

おじいちゃん・おばあちゃんへ

科学の研究が進み、昔の「こうあるべき」から「のびのび子育て」へ。

たとえば、以前はやめさせようとしていた指しゃぶりも、指先の感覚を覚えて物をつかむ・つまむために必要な発達段階なので見守っていて構いません。オムツ外れの時期も、昔はできるだけ早いほうが良いとされましたが、1人1人の成長によって違うので、その子の状態をよく見て決めましょう。他にも「適度な外気浴」「薄着でOK」「うつぶせ寝ではなくあおむけ寝」「はちみつは1歳を過ぎてから」「妊婦は2人分食べなくてよい」「新生児期からのチャイルドシートの義務化」など時代とともに常識は変わっています。世代間ギャップでお困りのときは、保健師や助産師に相談してくださいね。